4

平成 25 年度

事業実施計画

e-Knowledge Consortium Shikoku

平成 25 年度 e-Knowledge コンソーシアム四国
事業実施計画

平成 25 年 2 月 4 日
eK4 事務局修正

＊を付した項目については、H25 年度は実施を前提としないが、H26 年度に改めて対応を検討する事となっている。

① 教養教育（四国学）および専門教育コンテンツの活用

これまでと同様に、四国学の e-Learning コンテンツを連携大学の教養教育科目として活用する。また、学際的専門科目の e-Learning コンテンツを連携大学の教養教育科目または専門科目として活用する。これらのコンテンツ配信には各連携大学の LMS を利用する。

＊ ② 『四国の知』を活用した教育プログラムの実施（可能な大学において）

これまでと同様に、上述の①の科目を取り込んだ『四国の知』を活用した教育プログラムの検討を行う。基本的には個々の連携大学内の本事業を推進する部局で検討を行い、その検討内容は企画委員会で相互に情報交換する。さらに教育プログラムの試行を可能な連携大学から実施する。

③ オープンコンテンツ化の検討

企画委員会を中心として、引き続き、四国学科目の一般への公開（地域への PR などの観点から）、オープンコンテンツ化を検討する。

④ e-Learning コンテンツの開発

④－１：これまでと同様に、e-Knowledge コンソーシアム四国に提供する四国学や学際的専門教育科目の e-Learning コンテンツを開発する。
④－２：各大学において共通にニーズのある教養科目、学部基礎科目（工学部の基礎数学、基礎物理など）リメディアル教育について、ｅ-Learning コンテンツの共同開発に向けて検討する
＊ ④－３：引き続き、地域サポーターと e-Knowledge コンソーシアム四国が共同で e-Learning コンテンツを開発することを検討する。

＊ ⑤ 地域サポーター会議の設立

自治体、産業界・企業、経済団体、各種文化施設、NPO、個人を対象として地域サポーター会議の設立を引き続き目指す。このため、地域サポーターの勧誘などを進める。

⑥ 事業報告シンポジウムの開催（平成 26 年 2 月または 3 月）

平成 25 年度の事業内容を広く公開するために、事業報告シンポジウムを開催する。

⑦ 共同研究シンポジウムの開催

企画委員会が中心となり、共同研究シンポジウム等を開催する。

⑧　四国学を通じた四国の魅力を全国へ発信

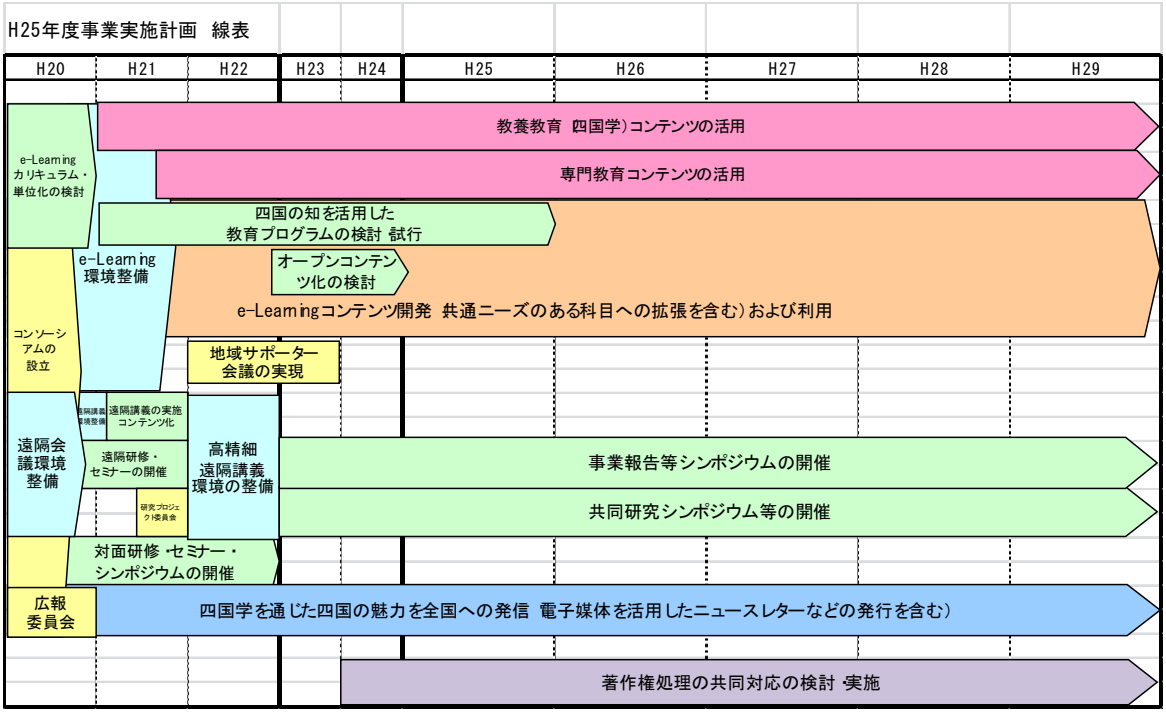
企画委員会が中心となり、WWW、メールマガジン、ニュースレターにより四国学を通じた四国の魅力を全国へ発信する。

⑨　外部評価委員会の開催

外部評価委員会を開催し、コンソーシアム四国全体および各専門分野の活動計画とその達成度を評価する。それぞれは、PDCA サイクルを基本に１年間を１サイクルとして評価を実施する。

⑩　人材育成に関わる新規事業の検討・実施

企画委員会を中心に四国のための人材育成を前提とした新規活動について検討する。上記を踏まえ、個々の連携大学で e-Learning 以外の人材育成事業・活動を検討する。

⑪　著作権処理の共同対応の検討

著作権処理に関して、個々の大学で対応するのでなく、ＷＧを立ち上げるなどして、eK4 全体として対応できる体制の整備を検討する。